

## <ちょこっとコラム③⑦>

(教会用語 その⑩)

### 「塗油」 *anointing*

聖別されたオリーブ油を用いて、肉体的、精神的な癒しを祈る儀式です。聖公会の聖奠的諸式の一つとして、病人が希望した時に司祭が行います。以前は「抹油式」と呼ばれ、臨終にある信徒に対してのみ行われていましたが、現在は初代教会にあった本来的な意味が見直され、病者を対象とした式となりました。

福音書の中で、イエス様は病人に触れて癒し、病気の原因と考えられていた悪霊を追い出し、使徒たちもそれに倣いました。ヤコブの手紙5章13～16節には教会の長老たちによる病者の塗油が描かれています。塗油の式をご希望の方は、いつでもお申し出ください。